

# 情報公開文書

研究の名称	術前データを用いた分離肺換気中の酸素飽和度低下予測モデルの構築
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	麻酔科学 教授 高澤知規
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 2020年1月1日から2023年12月31日までに、本院で側臥位で分離肺換気を伴う呼吸器外科手術を受けた患者で、対象疾患は肺腫瘍、気胸、膿胸とします。</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> 呼吸器外科手術で分離肺換気を行う際、低酸素血症がしばしば発生し、患者が危険な状態に陥る場合があります。しかし、低酸素血症を事前に予測する方法は確立されていません。本研究では、過去の手術データをもとに、分離肺換気中の酸素飽和度低下を予測するモデルを構築し、リスクの高い患者を事前に特定して対策を講じることを目指します。この研究を行うことで、より安全な麻酔管理の確立に貢献します。</p> <p><b>【研究の方法】</b> 電子カルテや麻酔記録から収集した臨床情報を基に、分離肺換気時に酸素飽和度が低下する症例を予測する機械学習モデルを構築します。データは学習用、交差検証データ、およびテスト用データに分割し、学習用データでモデルを作成、交差検証データで性能評価・調整を行い、テスト用データで精度を検証します。Pythonのscikit-learnライブラリと関連ツールを活用します。</p> <p><b>【利益相反の状況】</b> 本研究に関係する企業等との間に利益相反はありません。</p> <p><b>【研究期間】</b> 実施許可日 ～ 2026年3月31日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 日本臨床麻酔学会第45回大会で発表予定 Journal of Anesthesia に論文投稿予定</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	電子カルテから術前データとして、年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、喘息の有無、%VC、FEV1%、KL6、BNPの情報を取得します。麻酔記録から術中データとして、術中の経皮的酸素飽和度、吸入気酸素濃度、手術対象疾患、手術を受ける側の肺、麻酔方法の情報を取得します。それらの項目を機械学習に用います。他機関への提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	機関：富山大学附属病院 責任者：富山大学附属病院長
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を

	開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院 麻酔科学 教授 高澤知規
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7377</p> <p>FAX 076-434-5040</p> <p>E-mail megahase@med.u-toyama.ac.jp</p> <p>担当者所属・氏名 富山大学附属病院 集中治療部 診療助手 長谷川裕一</p>